

NEWS RELEASE

平成 20 年 4 月 3 日

電通本社ビル、「東京都地球温暖化対策計画書制度」で最高評価 AA+ を獲得

株式会社電通（社長：高嶋達佳、本社：東京、資本金：589 億 6,710 万円）の汐留本社ビルが、この度「東京都地球温暖化対策計画書制度」^(注1)の中間報告において、現時点での最高評価ランクとなる AA+ を取得した。

電通本社ビルは、設計段階から地球環境との共生をコンセプトに様々な省エネルギー手法を取り入れ、平成 14 年 11 月に竣工した。ビル完成後も多様な環境施策が随時追加されているほか、計画書に記載した CO₂削減対策^(注2)も着実に進められてきている。平成 17 年に東京都地球温暖化対策計画書制度が施行され、同制度の計画時評価においても最高評価ランクの AA を取得しているが、今回の中間報告ではこれまでの不断の取り組みが高い評価につながり、さらに高い評価である AA+ を取得した。

電通は、今後も電力使用量の低減をめざしたシステム改良、各所の回転扉の改修や太陽光発電・風力発電をはじめとする新エネルギーの導入といった設備投資、さらには社員一人一人の環境意識向上などになお一層力を注いでいく方針である。これにより平成 21 年度に予定されている同制度の結果報告時において、最高評価である AAA を取得することを目指している。

注 1 東京都地球温暖化対策計画書制度

温室効果ガスの削減を目的として東京都環境局が平成 17 年度より実施しているもので、電気や熱源のエネルギー使用量が原油換算量で 1,500kℓ 以上の事業所に対し、CO₂排出量削減の具体的な目標と対策を定めた計画書の提出を義務づけている。都は提出された計画書および対策の実施状況について、計画時・中間報告時・結果報告時の 3 段階において評価し、その結果を公表する。計画の期間は 5 年間で都内約 1,100 箇所の事業所が対象となっている。

東京都地球温暖化対策計画制度における評価ランクは、計画時評価：最低 C～最高 AA、中間報告時評価：最低 C～最高 AA+、結果報告時評価：最低 C～最高 AAA

注 2 CO₂削減対策

社員一人一人の日常的な CO₂削減活動(OA 機器の不使用时 OFF・消灯の励行・階段使用の促進等)を主体として、少量でも環境に対する配慮を意識的に行っている。一方、ビル設備では電気温水器の夏期停止、地下駐車場における給排気ファンの適正運用、商業施設における空調機運転の効率化、省エネ型ファンベルトの採用といった基本対策に加え、電通本社ビル独自の対策としてオフィス部の空調機運転の効率化、外気導入用空調機のシステムプログラム改良、温度センサによる熱源機械室給排気ファンの効率運用などを幅広く実施している。